

現地支援委員会

from 東北

ニュースレター

「第 30 号」

2017 年 7 月 19 日

全国諸教会・伝道所の皆様、日頃からお支えと励ましをありがとうございます。九州北部豪雨被害をはじめ、各地での災害で被災された方々に主の慰めと希望が与えられ、必要が満たされますように東北から心をこめてお祈りしております。今号では、東日本大震災から 6 年 4 ヶ月経過した現在、継続しておこなわれている支援活動をまとめました。震災初期の活動とも比較することができるようになっています。現状をご覧いただき、引き続きお祈りとお支えをお願いいたします。

震災発生より 1 年以内の活動



チーム青森・岩手による野田村初期支援活動



大槌町小槌支援



大槌町安渡炊き出し支援



岩手県遠野を拠点にした支援活動



牡鹿半島・がれき撤去



汚泥除去作業



牡鹿半島・給分浜炊き出し



荻浜小炊き出し



巨理町青空市場



全国から送られてきた支援物資



緑ヶ丘仮設 青空市場

野田村仮設支援活動

野田村仮設支援復興住宅の完成を受けて 2016 年 3 月 18 日をもって支援を終了しました。

大槌町仮設支援活動

遠野ボランティアセンター

遠野ボランティアセンター
2011 年 8 月 2 日に開所以来、2014 年 3 月末をもって活動終了。以降、盛岡教会の支援の一環として継続後、2014 年 6 月 26 日遠野市役所に建物を返還し撤収完了しました。

南三陸町戸倉(学習)支援活動

石巻市元浦屋敷仮設支援活動

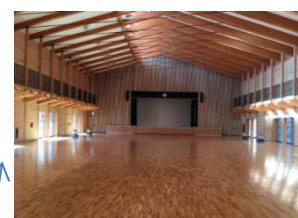
石巻市牡鹿半島仮設支援活動

巨理町宮前仮設支援活動

福島緑ヶ丘仮設支援活動

現在の様子と活動

岩手県大槌町支援(安渡・小槌第 4、7 仮設)
宅地造成は進んでいるものの、未だ仮設住宅居住者がおられ支援は継続されています。



新安渡公民館・避難ホール「お茶っこ」の様子



新戸倉小学校

2015 年 10 月戸倉に新校舎が落成。森に囲まれた高台へ移転しました。現在も学習支援は続けられています。



石巻市牡鹿半島支援
今年度末には全ての仮設住宅が解消する予定で、各仮設居住者もわずかとなりました。今後の活動につき検討しています。



牧浜仮設支援



元浦屋敷仮設支援



荻浜仮設支援

巨理町宮前仮設支援
宮前仮設も含め、一部を除いてすべての仮設住宅は解体されました。現在は、在宅、復興住宅の独居高齢者を中心に 2 か月に一度訪問を行っています。

仮設解体の様子
訪問したお宅にて

完成した復興住宅



福島緑ヶ丘仮設支援
富岡町は避難指示が解除になりました。しかし、福島第一原発の廃炉作業や放射能問題への不安があります。仮設では借り上げ住宅や復興住宅に引っ越される方もあり、仮設内のコミュニティの均衡が崩れつつあることから継続して支援を行う予定です。